

## 半わい化栽培 講習会資料

### ◆樹間距離について

品種・・・強い樹勢 ふじなど 7～6 m  
弱い樹勢 秋映など 5～4 m

台木・・・ J M 2 長めの樹間  
J M 7+マルバ 長めの樹間  
M 9+マルバ 短めの樹間

地力・・・強め 長めの樹間 弱め 短めの樹間

### ◆台木の特徴

J M 2 台木としてはこれが基本 品種は限られる。無い場合は自分で接ぐ  
数量に限りがあるので早めの注文（1年前より予約注文）  
下枝が太くなりやすいので注意  
国の補助事業の場合は J M 2 台木使用が条件になる。

J M 7+マルバ マルバを利用しているため J M 2 より湿害に強い  
品種は限られる。無い場合は自分で接ぐ  
数量に限りがあるので早めの注文

M 9+マルバ 樹が弱りやすいので深植えにする。  
最初から支柱を設置する。支柱はしっかりと地下まで埋め倒れないようにする。苗木は豊富にあるので注文は9月が良い

### ◆栽植本数の目安

4×4 m 62本  
5×5 m 40本 基本  
7×5 m 29本 列間広め 軽トラが入る作業通路  
6×6 m 28本  
7×7 m 20本

### ◆収量

1本の主枝に100個着果  
4本主枝のため1本に400個着果  
10a 当たり40本植えとして16000個着果  
1個300g として4800kg  
kg 当たり150円として72万円/10a

◆補助事業を利用する場合は、植える前（切る前）に果樹技術員まで相談ください。



ほぼ剪定前

主幹の先端は切除済み

主幹上部の側枝を取り除き  
光が入るようにする

主幹から出ている主枝候補枝以外の  
枝は取り除く  
候補枝の基部に光を入れると結実枝  
が確保しやすい。



なり枝の先端は二股で良い  
1年後には花芽が付く  
花芽が付いてから切る

なり枝にはりんごをならせ  
て曲げる

主枝は45度の角度にする。1年目は下へ引っ張る（杭が必要）  
杭があると草刈りが面倒だか、主枝が2年の内に決定するまでガマンする。

着果が始まった枝は垂れないように引っ張り上げる。主枝先端を垂らさない。  
鋭角な主枝候補でも誘引により使える。  
誘引の際に割れないように、元を縛っておく

## 剪定後



地上から70センチまでは横枝をつけない。無駄になるので早めに除去する。  
太くなりやすく、他の主枝候補枝に影響が出る。

基本枝の伸びは強めになる。樹勢は強い方がよい。  
リンゴが着果しだすと伸びが止まってしまう、樹冠拡大ができなくなる。  
樹勢が弱くなる前に早く樹を大きくして着果量を稼げる樹にする。

## 苗木の管理

1年目で主枝候補の枝を2本確保する。下の段 1m位（腰の位置）の所から出た枝  
2年目で主枝候補の枝を2本確保する。上の段 背丈位の位置から出た枝  
合計 4本

強い苗木なら1年目で4本確保でもよいし、1年目3本2年目1本でもよい。  
苗木が小さい場合は主枝候補を作らず、1年樹づくりする。

## 剪定前



### 主枝延長枝の処理

強い場合は二股で残し、片方を先刈り

弱い場合は1本にして先刈り  
更に太めのなり枝を除く

## 剪定後



今までの剪定とは違うので注意

- ①同年枝を残す
- ②車枝が良い
- ③早く主枝を決定（4本）する
- ④歪主枝を作らない

## 1年後の剪定

せん定前

主幹の切除  
短くはするが、主枝が太くなるま  
で残る。枝は不要。  
新梢は夏に切除



せん定後

主枝先端の伸長が少なくなってきた  
ら、二股を1つにする。

